

柿木図書館及び周辺施設の 更新等に関する検討（第4回）

～区立施設マネジメント計画に基づくワークショップ～



令和8年3月28日（土）
杉並区企画課
施設マネジメント担当

ワークショップの進め方

ワークショップのゴール

対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法(たたき台)を作成する

第1回

(令和7年
8月31日)

対象施設を知ろう！

- ・対象施設を見学し、対象施設の残したい良さや改善したい点などを各グループで共有しましょう

第2回

(令和7年
11月1日)

課題解決に向けた方策を考えよう！

- ・グループごとに対象施設の良かった点や課題を整理し、課題解決に向けてどのような方策が考えられるのか、アイデアを出し合いましょう

第3回

(令和8年
1月24日)

更新方法(たたき台)について検討しよう！

- ・区が作成した複数の更新方法(たたき台)について、良い点や気になった点などをグループごとに話し合いましょう

第4回

(令和8年
3月28日)

検討を深め、更新方法(たたき台)を比較してみよう！

- ・それぞれの更新方法(たたき台)について検討を深め、メリットやデメリットを比較しましょう

第4回のゴール・プログラム

第4回のゴール

検討を深め、更新方法（たたき台）を比較してみよう！

1. 区からの説明 (9:30~10:00)

- 第3回の振り返り～主なご意見（抜粋）～
- 第3回の主な質問に対する回答
- 令和8年度（2026年度）以降のスケジュール（予定）
- たたき台の比較表について

2. グループワーク (10:00~11:10)

- 更新方法（たたき台）について検討を深め、メリットやデメリットを比較しよう
- ～休憩（10分）～

3. 全体共有 (11:20~12:05)

- 各グループの参加者から、グループで出た意見等を共有

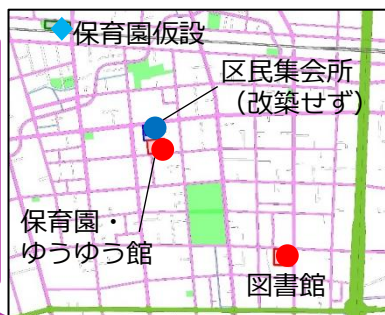
4. 区からのあいさつ (12:05~12:10)

第3回の振り返り～主なご意見(抜粋)～



画像生成AIにより作成

たたき台1



○ゆうゆう館は職員との交流や新しい友達ができるなど良い施設。ゆうゆう館が確実に残る点は良いと思う。

▲集会機能を持つ施設が隣接していることや、ゆうゆう館の夜間の稼働率が低いなどの課題に対して、老朽化した施設を単に更新するだけでは課題の解決にならないと思う。

たたき台1・2共通

○施設の配置が変わらないため、利用者への影響が少なく、地域のシンボル性も保てる点が良いと思う。

○保育園とゆうゆう館の配置が変わらないため、ゆうゆう館で実施している、高齢者と保育園児の交流イベントを維持できる点が良い。

▲遊び場116番に保育園の仮設園舎を整備する場合、線路の南側の人は踏切を渡って通園する必要が生じる。鉄道の騒音も懸念される。

たたき台2



○施設の配置が変わらないことから、たたき台3と比べて地域への影響を抑えられる。バランスが良く、区民の納得も得られる案だと思う。

たたき台3



○図書館と集会施設の合築は相乗効果が期待でき、わくわくして行ってみたい施設になると思う。

○保育園の仮設園舎が不要で、コストがかからない点が良い。

○保育園の園庭面積を現状程度確保できる点が良い。

▲図書館の6年程度の休館期間は長すぎると思う。近くに貸出窓口だけでも設置するなどの対応が必要になると思う。

▲施設の配置が変わるため、地域の理解を得るために丁寧な説明が必要である。地域住民は、図書館や保育園が今の場所にあることに愛着を持っており、また、高齢者は慣れ親しんだ場所が変わると慣れるまでに時間がかかる。

その他

・最終的に地域にとって良い施設ができるのであれば、図書館の休館期間が長くなることも我慢できるのではないかと。長い目で見て、この地域のためになる案が良いと思う。

・改築後の図書館は、親子の触れ合いが増えるような施設にしてほしい。

・集会施設には、大人数で集まって飲食等ができる部屋や、歌や楽器の練習ができる防音の部屋、施設前に親子で楽しめるスペースがあると良い。

第3回の主な質問に対する回答

Q1

たたき台1・2における保育園の仮設園舎について、

- 線路からの距離が近いため、電車の音や振動が大きく、子どものお昼寝に支障が出るのではないのか。
- 線路の南側に住んでいる利用者は、朝の時間帯に開きづらい踏切を渡ることになるが、どう考えているのか。
- 園庭がなくても大丈夫なのか。

A1

- 仮設園舎の建設に当たっては、防音性能を高めるなどの対策を行い、子どものお昼寝に支障が出ないように十分配慮していきます。
なお、区内の保育園の中には、線路沿いに立地しているところもありますが、電車の音や振動によってお昼寝などに特段の支障が出ているといったことはありません。
- 新規の入園希望者に対しては、事前に仮設園舎の利用期間や場所を入園のお知らせ等でお知らせしますので、入園希望者がそれぞれご家庭の事情に応じて適切に保育園を選べるようにしていきます。
なお、在園している園児に影響が生じないよう、仮設園舎への移転は在園児が卒園した後の令和13年度以降を予定しています。
- 仮設園舎は、遊び場116番の敷地の一部に建設するため、仮設園舎で使用しない残りの敷地については、引き続き遊び場として活用していきます。
また、仮設園舎から徒歩約4分の四宮森公園など近隣の公園も利用することで、適切な保育環境を確保していく考えです。

第3回の主な質問に対する回答

Q2 改築後の図書館はどのような図書館を整備する考えなのか。

A2 ○区では、区立図書館について、本や資料を提供するだけでなく、多世代の楽しい交流空間となること等を将来像として描いています。（杉並区立図書館サービス基本方針（令和5年3月））
今後は特に、青少年（YA）世代の学びや交流の場、居場所としての図書館の施設整備を検討する必要があります。

柿木図書館の課題等

エレベーター、幼児用及び多目的トイレ、授乳室、児童コーナー、YA（ヤングアダルト）コーナー等が未整備又は不足している。

図書館から見た各たたき台のメリット・デメリット

たたき台1・2（図書館を単独で改築する場合）

〈メリット〉

単独で改築するため、たたき台3と比べて、静と動のスペースを明瞭に区分し、目的に合わせての利用がよりしやすい。

〈デメリット〉

エレベーターなどを新たに整備することから、現状よりも建物が大きくなり、敷地内の樹木を一部伐採しなければならない。

たたき台3（図書館と集会施設を合築する場合）

〈メリット〉

単独で整備する場合よりも交流空間を創出しやすい。なお、単独であっても、ロビーや講座室等の活用により交流空間を創出できるように工夫することは可能と考える。

〈デメリット〉

休館期間が6年と長く、休館期間中のサービス低下が課題となる。また、休館期間中は、倉庫で蔵書等を保管する必要があるため、倉庫の賃借料がたたき台1・2と比べて高くなる。

電子図書に関する考え方

区では、デジタル環境を活用し、誰もが必要な情報にアクセスしやすいようにするとともに、歴史的・文化的な資料の保存などに取り組んでいます。

一方で、電子図書は、数年ごとに利用料が発生するため、紙の図書と異なり永久的に利用できないほか、利用回数に制限があるなどの課題があります。

なお、電子図書と併せて紙の図書を保存することも必要であるため、電子図書化によって書架を削減することは困難です。

(参考) 杉並区立図書館サービス基本方針

図書館から広がる知と対話

— 学びの場・ 知の共同体・ 楽しい交流空間

学びの場

- ・多様な資料・情報を提供する場
- ・生涯にわたる読書習慣を養う場
- ・情報へのアクセシビリティが整備された場

学びの成果の共有

新たな学びと知の生産

学びから活動へ

ボランティアとの連携・協力

利用しやすい環境

知の共同体

- ・学びの成果を蓄積・共有し 新たな学びを生む場
- ・杉並の「知の継承」を担う場
(歴史的・文化的資料の蓄積)

楽しい交流空間

- ・ボランティア活動等を通じた交流の場
- ・新たな興味や関心を広げる「第三の場」
- ・誰もが気軽に立ち寄れる居心地のよい場

対話から生まれる学び

第3回の主な質問に対する回答

Q3 四宮森児童館ができる前までは、四宮小学校内に学童クラブがあった。四宮小学校内に四宮森児童館を移転させ、児童館の建物を保育園の仮設園舎として活用できないか。

A3 ○昭和59年まで四宮小学校内にあった学童クラブの面積は約60㎡で、現在の四宮森児童館（約878㎡）よりもかなり小規模なものでした。
現在の四宮小学校内には、四宮森児童館を移転させる空きスペースはなく、また周辺にも四宮森児童館が移転できる場所はありません。このため、四宮森児童館の建物を四宮保育園の仮設園舎として活用することは困難です。

Q4 ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所の改築期間中は、周辺の施設を利用する必要があるとのことだが、具体的にはどの施設を利用すれば良いのか。

A4 ○ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所の周辺には、井草地域区民センター（下井草5-7-22）や八全区民集会所（井草1-3-2）、ゆうゆう井草館（井草2-15-15）、ゆうゆう桃井館（桃井1-35-2）があり、改築期間中は、こうした施設を利用しているだけことを想定しています。

第3回の主な質問に対する回答

Q5 各たたき台における更新スケジュールの想定を教えてください。

	現在の建物等	更新後の建物等	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
たたき台1	柿木図書館	図書館	設計	解体	建築	開設					
				図書館 休館 3年							
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館	保育園 ゆうゆう館				設計	解体	建築	開設		
							ゆうゆう館 休館 3年				
四宮区民集会所	-	(改築せず)									
遊び場116番	保育園仮設園舎			設計・建築	仮設園舎利用		解体				
たたき台2	柿木図書館	図書館	設計	解体	建築	開設					
				図書館 休館 3年							
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	保育園 集会施設				設計	解体	建築	開設		
							ゆうゆう館・区民集 休館 3年				
遊び場116番	保育園仮設園舎			設計・建築	仮設園舎利用		解体				
たたき台3	柿木図書館	保育園	設計	解体	建築	開設					
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	図書館 集会施設				設計	解体	建築	開設		
							ゆうゆう館・区民集 休館 3年				
			図書館 休館 6年								

※現時点での想定になります。

第3回の主な質問に対する回答

Q6 各たたき台で整備する施設の規模や集会室の数を教えてほしい。

A6 ○各たたき台に共通することとして、保育園や図書館は現在の基準に合わせてエレベーターの設置などバリアフリー対応を図る必要があることなどから延床面積が大きくなります。

一方で、たたき台2・3において、ゆうゆう館と区民集会所ではなく、コミュニティふらっとを整備する場合は、ラウンジやトイレなどを別々に設置する必要がないことから延床面積を小さくできる可能性があります。

また、たたき台3では、図書館と集会施設を合築するため、両施設のラウンジやトイレなどに加えて、集会施設の多目的室と図書館の講座室を共有することでさらに延床面積を小さくできる可能性があります。

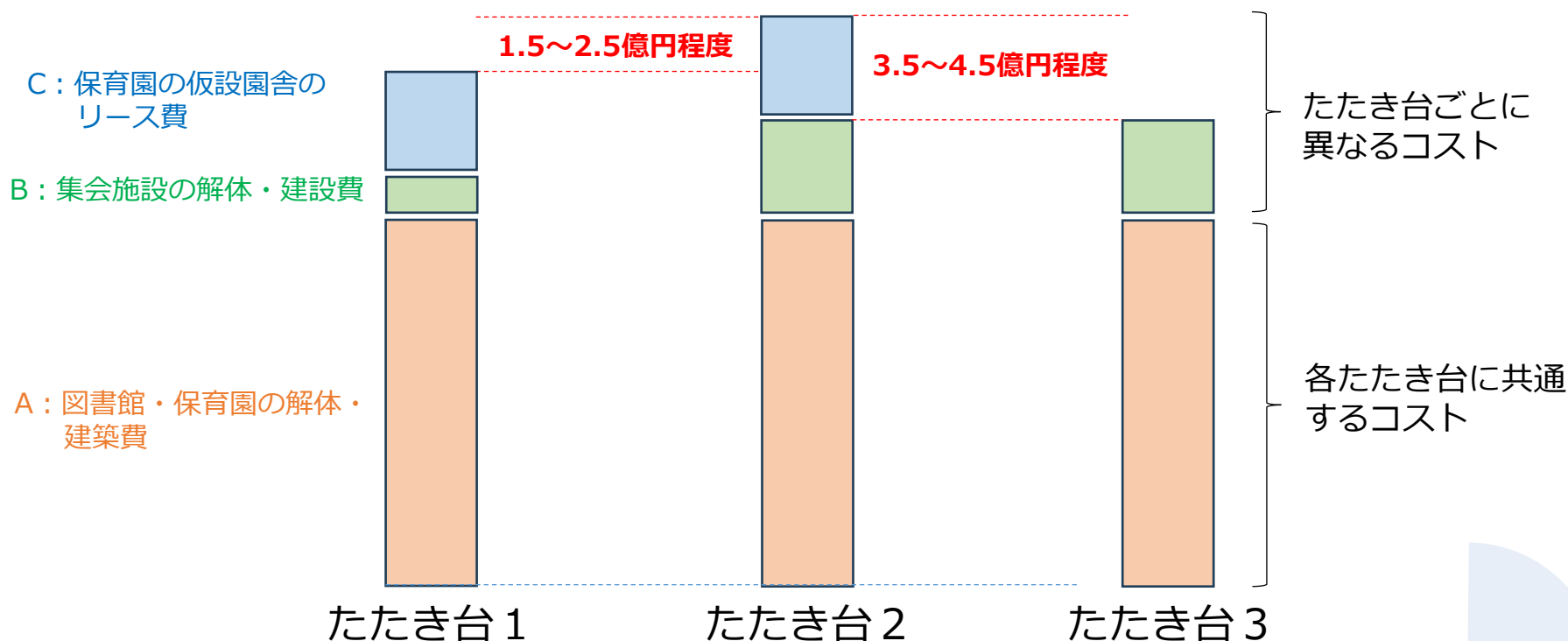
なお、保育園の園庭面積については、たたき台1・2では現状（563㎡）よりも小さくなりますが（400㎡弱を想定）、たたき台3では現状程度を確保できます。

○集会室については、現在の利用状況等を踏まえた上で、必要な数を検討していきますが、たたき台ごとの差異は生じない想定です。

第3回の主な質問に対する回答

Q7 各たたき台の整備等に係るコストはいくらぐらい違うのか。

A7 ○整備等に係るコストは、たたき台3が最も低く、たたき台2が最も高くなります。たたき台1は、たたき台2と比べて、区民集会所の改築に係るコスト分(1.5~2.5億円程度)が低くなる想定です。また、たたき台3は、たたき台2と比べて、保育園の仮設園舎のリース費分(3.5~4.5億円程度)が低くなる想定です。



※現時点での想定になります。

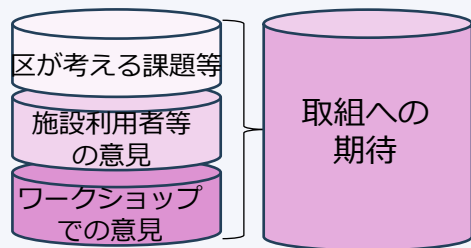
※図書館の休館期間中も蔵書等を保管する必要があることから、倉庫の賃借料が別途掛かる見込みです。たたき台3は、図書館の休館期間がたたき台1・2と比べて3年程度長くなるため、倉庫の賃借料が1千万円程度高くなる想定です。

第4回の進め方

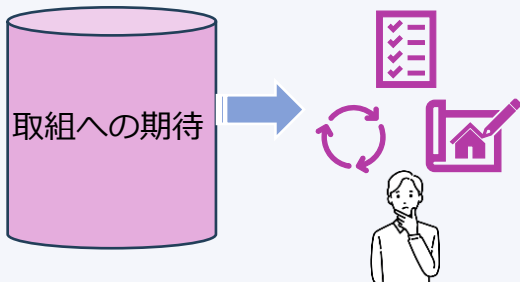
第3回までのご意見を参考にして、各たたき台のメリットやデメリットに関する比較表を作成しました。

今回のグループワークでは、比較表に基づいて、各グループで意見交換します。

第2回



“取組への期待”を整理しよう



“取組への期待”を達成するための「具体的なアイデア」を考えよう

第3回

“取組への期待”	たたき台1	たたき台2	たたき台3
(1)様々な用途で利用でき、地域の人々が集い、交流が生まれる			
(2)気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる			
(3)・・・			
(4)・・・			

区が整理した「“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点」を見てみよう

第4回

“取組への期待”	たたき台1	たたき台2	たたき台3
(1)様々な用途で利用でき、地域の人々が集い、交流が生まれる	▲・・・	○・・・	○・・・
	○・・・	○・・・	▲・・・
(2)気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる	▲・・・	○・・・	○・・・
	○・・・	○・・・	▲・・・
(3)・・・			
(4)・・・			

更新方法（たたき台）について検討を深め、メリットやデメリットを比較しよう

令和8年度（2026年度）以降のスケジュール（予定）

令和7年度
(2025年度)



ワークショップの開催

○対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法（たたき台）を作成します。

令和8年度
(2026年度)



令和7年度（2025年度）に作成した更新方法（たたき台）に関する意見聴取

- オープンハウス等を開催し、ワークショップに参加していない方からもご意見を伺います。
- ご意見を踏まえた上で、更新方法（案）を作成します。



更新方法の決定（施設マネジメント計画の改定）

- 更新方法（案）を反映した計画（案）についてパブリックコメントを実施し、区民のご意見を伺います。

令和9年度～
(2027年度)



決定した更新方法に基づく取組の実施（設計・工事等）

“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点について

第3回でのご意見等を踏まえて、「取組への期待”を達成できているかを確認するための視点」を修正しました（赤字部分）。

取組への期待	(1) 様々な用途で利用でき、地域の人々が集い、交流が生まれる
視点	<ul style="list-style-type: none">様々な使い方ができるスペースや、集い、交流できるスペースが確保されているか現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか

取組への期待	(2) 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる
視点	<ul style="list-style-type: none">集会施設について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせるか

取組への期待	(3) 安全・安心の確保
視点	<ul style="list-style-type: none">高齢者や障害者などが安全に利用できるか誰もが安心して過ごせる施設となっているか

取組への期待	(4) 子どもがのびのびと育つ
視点	<ul style="list-style-type: none">保育園の園庭を十分に確保できるか子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか子どもが他の世代と交流する機会を確保できるか子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか

取組への期待	(5) 高齢者の活動場所の確保
視点	<ul style="list-style-type: none">高齢者のこれまでの活動を継続できるか高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか

取組への期待	(6) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和
視点	<ul style="list-style-type: none">地域の祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか近隣施設との配置バランスが取れているか図書館敷地にある樹木を維持できるか周辺環境への影響を抑えられているか

取組への期待	(7) 土地・建物の有効活用
視点	<ul style="list-style-type: none">土地や建物が有効活用されているか整備コストを抑えられているか改築に伴う休館期間が短く抑えられているか



主なご意見

- ゆうゆう館と区民集会所の連携ができるとうい。隔てているフェンスをなくして交流を増やせないか。
- 多世代がフレキシブルに利用できるように、区民集会所とゆうゆう館を一体的に整備するなど利用者の年代の幅を拡大する必要がある。
- ゆうゆう館と区民集会所を集約する場合、建物内でエリアを分けつつ、入口やラウンジなどを共有することで、世代ごとに集まることの安心感と世代を越えた交流を両立できるようになるのではないか。
- 図書館に多目的室を設けて、地域の人々が交流できる空間があると良い。
- 集会室は広い部屋を整備して大人数の集まりにも対応できるようにするべき。
- 柿木図書館は自習スペースが足りておらず、休日は10時前には満席になっていることが多い。学生の利用やテレワーク需要などがあるとと思うので拡充できると良い。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較

▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
様々な使い方ができるスペースや、集い、交流できるスペースが確保されているか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、区民集会所の間取りを大幅に変更することや新たなスペースを確保することは難しい。	区民集会所を改築又はコミュニティふらっとを整備することで、ダンスなどの軽い運動や音の出る活動など、様々な使い方ができる多目的室を新たに設置できるとともに、地域の人々が交流できるラウンジなどのスペースをこれまで以上に確保できる。	
	図書館を改築することで、図書の見学や調べものなど、様々な使い方ができるスペースを確保できる。		
現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか	集会施設を引き続き整備することで、地域活動を継続し、発展させる場を維持できる。		



主なご意見

- 集会施設は、スペースの有効活用を検討して、勉強ができたりワークスペースとして使える談話コーナーを拡充すべき。
- 図書館に会議ができたり、おしゃべりができる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。
- 図書館では、落ち着いて静かに過ごしたい人もいれば、子どもを連れて、遊ばせながら利用したい人もいる。お互いに気持ちよく利用できるよう、心理的安全性の確保が必要だ。
- 図書館と集会施設の合築は相乗効果が期待でき、魅力的な施設になると思う。
- 図書館と集会施設を合築する場合、集会施設でイベントを開催するときの音が図書館に影響しないように配慮する必要があると思う。
- 四宮区民集会所は、建物が奥まったところにあり利用しにくい。梅まつりのときは利用者が滞留している。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較

▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
集会施設について、 周囲から目につく建物 になっていて、気軽 に立ち寄れるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、 道路から奥まった場所に建物が ある現状は変わらない。	区民集会所と他の施設を合築することで、周囲から目につきやすく、立ち寄りやすい施設にすることができる。	
一人や少人数でも 気兼ねなく利用で き、落ち着いて過 ごせるか	○	◎	○
	区民集会所を改築しないため、 区民集会所の間取りを大幅に変 更することや新たなスペースを 確保することは難しい。 図書館を単独で改築するため、 集会施設と合築するたたき台3 と比べて、落ち着いて読書や調 べものができるスペースを確保 しやすい。	集会施設を改築することで、一 人や少人数でも気兼ねなく利用 でき、落ち着いて過ごせるよう なラウンジなどのスペースを確 保することができる。 図書館を単独で改築するため、 集会施設と合築するたたき台3 と比べて、落ち着いて読書や調 べものができるスペースを確保 しやすい。	集会施設を改築することで、一 人や少人数でも気兼ねなく利用 でき、落ち着いて過ごせるよう なラウンジなどのスペースを確 保することができる。 図書館と集会施設を合築するた め、集会施設のイベント開催に は、落ち着いて読書や調べもの をすることが難しい場合もある。



主なご意見

- ゆうゆう四宮館は、バリアフリー化ができておらず、高齢者や車いすの方にとって不便である。雨の日はスロープが滑りやすいなどの危険もある。
- 四宮保育園は、ワンフロアで開放的なつくりになっているため、フロア全体や外の様子が見通せて、安全性が高い。
- 柿木図書館は、樹木が多くて見通しが悪く、また、周辺に外灯が少ないことから怖い印象がある。立ち寄りやすい環境を整備すべき。
- 柿木図書館は、内部が狭くて急な階段しかないため、高齢者等のためにもエレベーターの設置などバリアフリー化してほしい。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較

▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
高齢者や障害者などが安全に利用できるか	施設を改築することで、高齢者や車いすの方などが利用しやすいようにバリアフリー化するとともに、施設内や敷地内の見通しをよくするなど、安全性を確保できる。		
誰もが安心して過ごせる施設となっているか	施設を改築することで、施設内や敷地内の見通しを確保するなど誰もが安心して過ごせる施設にすることができる。		



主なご意見

- 四宮保育園は園庭が広く、多様な遊び方ができる。
- 子どもが多様な将来を選択できるように、図書館の蔵書は多い方が良い。
- 子ども用の広い図書スペース（靴を脱いで上がれる、明るい）があると良い。
- 保育園と集会施設を合築することで、現在、ゆうゆう四宮館で実施してる、高齢者と保育園児の交流イベントを維持できるとともに、高齢者と子どもが近い距離で過ごすことによるメリットも維持できる。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較 ▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの ◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
保育園の園庭を十分に確保できるか	▲	▲	○
	保育園の園庭面積は、認可基準(204.6㎡)以上を確保できるものの、現状(563㎡)よりも小さくなる(400㎡弱を想定)。		保育園の園庭面積を現状程度確保できる。
子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備することは難しい。	区民集会所を改築することで、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備できる。	
子どもが他の世代と交流する機会を確保できるか	○	◎	○
	保育園とゆうゆう館を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者が交流するイベントを継続しやすい。	保育園と集会施設を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者が交流するイベントを継続しやすい。集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備した場合、多世代向けのイベントなどを通じて、子どもが他の世代と交流しやすくなる。	保育園を単独で整備するため、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者が交流するイベントを継続しにくくなる。集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備した場合、多世代向けのイベントなどを通じて、子どもが他の世代と交流しやすくなる。
子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、小中学生の学習スペースを充実させることなどは難しい。	区民集会所を改築することで、小中学生の学習スペースを充実させることができる。	
図書館を改築することで、小中学生の学習スペースや児童コーナーを充実させることができる。			



主なご意見

- ゆうゆう館は、職員との交流ができたり、新しい友達ができるなど良い施設なので、たたき台1はゆうゆう館が確実に残る点が良いと思う。
- ゆうゆう館は雰囲気や居心地が良い。
- ゆうゆう館は利用する人が固定化されてしまっている。
- ゆうゆう館と保育園の併設は、子どもの声で元気をもらえるメリットがある。
- 現在の施設配置は、保育園の上にゆうゆう館があるので、2階から子どもたちの様子が見えたり、給食の香りがして懐かしさを感じられるのが良い。
- 新たに整備する集会施設には、これまでの活動を継続できるように、現在の区民集会所とゆうゆう館を合わせた部屋数を確保してほしい。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較

▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
高齢者のこれまでの活動を継続できるか	○	○	○
	ゆうゆう館が継続するため高齢者団体はこれまでと同様に活動できる。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、高齢者団体の優先枠を確保することで、これまでの高齢者団体の活動を継続することができる。	
高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか	○	○	○
	利用者と受付職員の距離が近く、温かみを感じやすいゆうゆう館が継続する。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、ゆうゆう館と同様に受付事業者がイベントなどの事業を行うことで、利用者と受付職員の距離が近くなり、高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所にすることができる。	



主なご意見

- たたき台1・2は、対象施設の移転が生じないため、区民の理解を得やすい案だと思う。
- 地域の方は図書館や保育園が今の場所にあることに愛着を持っており、高齢の方は慣れ親しんだ場所が変わると慣れるまで時間がかかる。
- 新たに整備する集会施設は、井草地域区民センターと近すぎない場所がよいので、現在の図書館の場所ではなく、現在の保育園・区民集会所の場所が適している。
- 図書館の移転は、近隣の小中学生や、桃井に住んでいる人たちの利用に支障があるのではないか。バス停や大通りから離れることでアクセスの悪化が懸念される。
- 春祭りや餅つきは地域に根付いている。地域の特徴的なイベントを残してほしい。
- 柿木図書館の柿やメタセコイヤは施設のシンボルになっている。敷地内の樹木を残してほしい。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較 ▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
地域の祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか	集会施設等において、これまで地域区民センター協議会等が実施してきたイベントなどを継続して実施することができる。		
近隣施設との配置バランスが取れているか	○	○	○
	保育園と図書館の場所は、いずれも現在と変わらない。 なお、区立保育園は、近隣の私立保育園を支援する役割を担っており、井草地域を担当するのが四宮保育園である。 また、図書館は、区内7地域に各2館ずつ配置することとしており、井草地域は柿木図書館と下井草図書館が該当する。		保育園と図書館の場所が変わったとしても、同じ井草地域内であり、配置のバランスは維持できる。
図書館敷地にある樹木を維持できるか	集会施設の場所は、いずれも現在の四宮区民集会所と変わらない。		
	影響(大)	影響(大)	影響(小)
	図書館の規模が現状よりも大きくなることから、現在の図書館敷地にある樹木を一定程度伐採する必要がある。		現在の図書館敷地に図書館よりも規模の小さい保育園を整備するため、たたき台1・2と比べて伐採する樹木の範囲は小さくなる可能性がある。
周辺環境への影響を抑えられているか	影響(小)	影響(小)	影響(大)
	施設の配置が現状と変わらず、周辺環境に及ぼす影響が小さい。		保育園と図書館の場所が変わるため、周辺環境に及ぼす影響がたたき台1・2と比べて大きい。



主なご意見

- たたき台3は、保育園の仮設園舎が不要でコストがかからない点が良い。
- 区民集会所とゆうゆう館を同じ建物内に併設し、共有のフリースペースを設けることで広いスペースの確保ができる。双方の利用時間帯も異なると思うので、スペースの有効活用も可能になる。
- たたき台3で、図書館の休館期間が6年程度となるのは長すぎると思う。貸出窓口の開設や仮設などの対応が必要になると思う。また、長期間の休館で人が離れていってしまうのではないかと思う。

ご意見等を踏まえた各たたき台の比較 ▲：現状より低下するもの ○：現状より低下するものと向上するものを両方含むもの又は現状維持のもの
◎：現状より向上するもの □：全てのたたき台に共通するもの

視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
土地や建物が有効活用されているか	○ 現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。 ゆうゆう館を存置するため、高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、建物の有効活用が図られにくい。	◎ 現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。 集会施設として仮にゆうゆう館ではなくコミュニティふらっとを整備した場合、多世代が利用できるようになることで建物の有効活用を図れる。	◎ 現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。 集会施設として仮にゆうゆう館ではなくコミュニティふらっとを整備した場合、多世代が利用できるようになることで建物の有効活用を図れる。 図書館と集会施設を合築するため、両施設で多目的室やラウンジ、トイレなどを共有できるなど、建物の有効活用を図れる。
整備コストを抑えられているか	コスト(中) 区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。一方で、保育園の仮設園舎を建設する費用が必要となる。	コスト(大) 区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するとともに、保育園の仮設園舎を建設するため、整備コストはたたき台の中で一番大きくなる。	コスト(小) 区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するが、保育園の仮設園舎を建設しなくて良いため、整備コストは3つのたたき台の中で一番小さくなる。
改築に伴う休館期間が短く抑えられているか	影響(小) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：3年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：なし(改築せず)	影響(中) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：3年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：3年程度	影響(大) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：6年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：3年程度

グループワーク

テーマ

更新方法（たたき台）について検討を深め、メリットやデメリットを比較しよう

- ・ 評価表に関するもやもや解消
- ・ 比較表の重要だと思った点、気になった点
- ・ 更新方法（たたき台）に関する意見（各たたき台に期待することなど）

進め方

付せんにも書いた意見を発表しましょう。